

## 平成 25 年度技術士二次試験（口頭試験）体験記

平成 25 年 12 月 8 日（日） 9:20～9:40(20 分) フォーラム 8 660 号室

Q1：コンサル風・・・50 歳くらい

Q2：公務員風（国交省？）・・・50 歳くらい

A：受験者（私）

※（ ）内は私の心の声です。

### 質問内容

・小論文と経歴プレゼン無しで、いきなり始まる

・【Q1】技術士試験、今回は何回目ですか？

・【A】1 次試験 4 回で 2 次試験今回は初めてです。

・【Q1】そうですか、1 次試験 3 回の不合格は何が足りませんでしたか？

・【A】最初の 1 回目は基礎科目の知識が足りず、後の 2 回は専門科目で僅かに足りていませんでした。

・【Q1】「そうですか、では今回は専門を補強されたんですね？」

・【A】はい！

・【Q1】では、緊張されずに行きましようか（どうやら、このやりとりは、従前から存在した緊張をほぐす為の質問だった？ようです）

・【Q1】受験の動機や今後の展望をお聞かせください

・【A】技術士となりコンサルと対等の立場で議論し、決して受身にならず自分から積極的に技術指導できる公務員技術者になりたいと考えました。技術士の資格を取得した後は自分が住んでいる北海道の発展に少しでも貢献したいと思います。

・【Q1】経歴を見たのですが、関係機関や対外協議の経験が多いですね、対外協議で気をつけている事は何か？

・【A】こちらから協議に行く場合も受ける場合も同じですが、対応には時間軸を持ちスケジュール管理に気をつけています。

・【Q1】具体的に、どんなスケジュール管理に気をつけていますか？

・【A】協議のボリュームが多いもの等では、資料作成などの作業を区分してそれぞれにス

ケジュール目標を設定し、資料作成を依頼するコンサル等にも「〇〇は、いつまで」と指示を行うようにしています

・【Q1】では業務詳細の方で質問ですが、再配分した自転車道区間の全体幅員構成と整備延長を教えてください

・【A】再配分を行った完成後の全断面でよろしいでしょうか？

・【Q1】はい、それで説明してください

・【A】車道 3.5m@4 車線、中央帯 1.0m、車道路肩 1.5m@2、自転車道 2m@2、自歩分離施設帯 0.5m@2、歩道 2m@2 で、整備延長は L=1,600m です。

・【Q1】車道路肩と植樹帯は、それぞれ何m幅員縮小しましたか？

・【A】車道路肩は 1.75m を 1.50m、植樹帯は 1.75m を 1.00m にしました。

・【Q1】1.00mの空間を創出したんですね

・【A】はい、それで自転車道 2m、自歩分離施設帯 0.5m、歩道 2m に再配分しました。

・【Q1】自転車道を整備することによって、駐停車車両が自転車道を塞ぐ問題は有りませんでしたか？

・【A】車道路肩整備ではなく、自歩道拡幅でしたので、あまり問題とはなりませんでした。

・【Q1】でも少しはあるでしょうね、その場合でも自転車は歩道に逃げたりするのかな

・【A】はい、取り付け間口の所では、歩道に回避できる構造となっているので、あまり良い事ではありませんが、そういう事象も本当に少ないですが有りました。

・【Q1】整備して、お店などから苦情はありませんでしたか？

・【A】やはり、何件かは有りました。

・【Q1】どのように対応されましたか？

・【A】警察と協働のモデル事業でしたので、所轄警察署の担当係長と理解を得るべく一軒一軒回ったりしました。

・【Q1】整備にかかったコストを教えてください

・【A】歩道のバリアフリー化も合わせて行いましたので、〇億〇千万円の事業費でした。

・【Q1】自転車道のカラー舗装って何色を使用しましたか？

・【A】 赤茶色のベンガラ色です（小論文に書いていただけない、やはり聞かれたか・・・一般的には青色だが・・・でも明確な理由があるので正々堂々回答）

・【Q1】 えっ？自転車道って、「青色」じゃないですか？（やはりツッコミが・・・）

・【A】 当時、北海道のモデル地区を対象としたローカルの整備マニュアルでは「ベンガラ色」を標準としていました。

・【Q1】 整備マニュアルって誰が作ったの？

・【A】 道路管理者と交通管理者が協働で作成しました。

・【Q1】 そうですか、警察が良いと言っていたのであれば問題ないですね

・【Q1】 車道路肩と植樹帯縮小して、除雪の方は問題無かったのですか？

・【A】 足りなくなった分を補完するために、北海道では冬季自転車利用がほとんど無いので自転車道を堆雪スペースとする工夫をしました（APEC さん来ました！本日、快心の回答です。）

・【Q1】 そうですね、北海道もう雪降っていますよね、12月になったら、ほとんど自転車利用無くなりますかね？

・【A】 12月中旬頃には、ほとんど利用が無くなります。

・【Q2】 今までのやり取りを聞いていて、私も聞きたい事が有りますので質問させてください、車道の車線数は自転車道整備後も変わっていないのですか？

・【A】 4車線で変わっていません

・【Q2】 車道路肩を縮小したと有りますが、駐停車車両による渋滞とか問題発生しませんでしたか？

・【A】 駐停車車両も少なく、渋滞の発生も無く問題は無いです。

・【Q2】 ここの自動車交通量を教えてください。

・【A】 27,500台/日です。

・【Q2】 なぜ？車道路肩1.75mを1.50mに縮小できたの？

・【A】 3種1級車道路肩の考え方を4種1級停車帯の最低値に見直しして考えました。（失敗した・・・最低値は、この段階では言わなくてもいい話だ）

・【Q2】 最低値を使える根拠って何か教えてください

・【A】 大型車が少ないからです。

・【Q2】 では、大型車混入率を教えてください

・【A】 7.4%です。

・【Q2】 えっ！国道〇〇号でしょ、そんなに少ないの信じられないな一並行路線何か有った  
っけ？（ウソじゃないですよセンサス値ですよ・・・）

・【A】 国道〇〇号に並行して、〇〇自動車道と国道〇〇〇号線が有ります。

・【Q2】 あっそうか〇〇道有るね、でも北海道の大型車の人ってさ高速使わないんだよね？

・【A】 国道〇〇〇号線が大型車の分担率高いです。〇〇号の〇〇市〇〇は都市計画区域で  
市街地化されていて、先ほども 4 種道路の話を説明しましたが街路に近い道路です（〇〇  
〇号の値は確認していなかったが通勤利用経験で大型車の多さは実感していた。）

・【Q2】 そうでしたか、わかりました。

・【Q2】 では、道路構造物の老朽化が問題になっていて補修に予算が必要ですが・・・北海  
道は、そんな心配はいらぬかも知れないけど・・・補修予算捻出のために、「どこか予算  
削れ！」となったら、何をあなたは削りますか？

・【A】 どの事業も必要な物ばかりですが、どうしてもと言われれば、例えば別線で計画し  
ていた高規格道路を現道活用に見直してコストを縮減、その予算を補修費に回すという事  
は考えられます。

・【Q2】 では、リダンダンシーは、必要無いて事かな？

・【A】 リダンダンシーは必要です・・・現道活用という言葉には、合わせて現道の強靱化  
も図って行きたいという意味も有ります。

・【Q2】 つまりは既存ストック活用を重視したいって事だね

・【A】 はい、そうです。（※ これ以上、挑発？に乗ると良い事無いので引き下がる、素直  
に「既存ストックの活用を」という言葉を待っていたのかも？）

・【Q2】 そいえば、最初の方でスケジュール管理の話をしていたけど、コンサルに指示した  
もの、ちゃんと上がってきますか？人出不足とか感じていませんか？

・【A】 コンサルの方は人出不足感じません（工事の方での人手不足は色々答弁を考えてい  
た。）

・【Q2】 そうですか、〇〇さんの担当コンサルは一生懸命やってくれるところなんだね

(※再び【Q1】が登場、そろそろ倫理・制度へ移行する時間かと・・・)

・【Q1】この自転車道の整備手法は、他でも適用できますかね？(まだ自転車道だ・・・時間調整かな？これなら少しでもプレゼンさせてくれた方が・・・)

・【A】車道路肩に自転車レーンが整備できない箇所での有効な対策だと考えます。

・【Q1】所属先で新たな自転車道整備の計画はありますか？

・【A】モデル地区整備以後、新たな整備計画は聞いておりません

・【Q1】そうですか、では整備計画が持ち上がって〇〇さんが担当になれば、また提案したいですか？

・【A】はい提案したいです。

・【Q1】アンケート調査を実施していますよね、実施方法を教えてください。

・【A】路上で自転車と歩行者に止まってもらい対面形式で行う方法と、協議会に参加頂いた町内会・大学・小学校 PTA 関係者に配布する方法で行いました。

・【Q1】アンケート回収数は。どれくらいですか？

・【A】400部でした。

・【Q1】では、技術士倫理の問題です。(待ってました！) 〇〇さんは、職場で公益確保の責務と相反する依頼をされたことがありますか？

・【A】今まで、そのような経験はありませんが、その様な場合は上司に相談します。

・【Q1】どの様な事を考えて、重視して上司に相談しますか

・【A】公益確保を優先しようという考えで上司に相談します。

・【Q1】技術士倫理について教えてください

・【A】3義務2責務でしょうか？綱領の方でしょうか？

・【Q1】3義務2責務で、お願いします。

・【A】信用失墜行為禁止の義務、守秘義務、名称表示の場合の義務、資質向上の責務、公益確保の責務です。

・【Q1】はい、わかりました。

(※ また【Q2】に戻る)

・【Q2】所属先では、公務員技術士はどの様に見られていますか？

・【A】高い技術力と倫理感を持った人と認識されていると思います。

・【Q2】技術士の取得が昇進や昇格には、関係していませんか？  
・【A】関係はしていません。（この系統の質問は、体勢に影響は無いのでテキパキ答える事と言われていたので、さっさと答えました。）

・【Q2】そうですか・・・（と言いながら笑った。）では、なぜ受験しよう取得しようと考えたのですか？

・【A】プロポーザル方式の審査などでは、品確法施行以降、公務員技術者も質の高い評価が求められており、高い技術レベルが必要です。技術士の資格でそれを保証する責務があると考えています。（あまりにいい子ちゃん？回答で・・・例えば「技術士会に加入して、他部門他組織の技術士と交流して見識を深めたい」とか言えば良かったかも？）

【Q1・Q2】わかりました。では終了します。（終了 9 時 40 分ピタリ 20 分）

#### ■最後に

・プレゼンがゼロのため、20分質問攻めが、とても長く感じた。  
・提出済み小論文からの質問が 8 割方、プレゼンも無しなのでイマイチな内容で提出してて補足しなかった場合、苦勞するかも？（経歴含め提出時は要注意かと）  
・「わかりません、戻って研鑽に努めます」回答はゼロと出来た。（模擬面接の頃は、しばしば有りましたが（汗）  
・一番心配だった「この小論文の何処が技術士にふさわしい業務内容ですか？」という質問は飛んで来なかった。それに対する回答も用意して臨み、その事項も回答する事は出来た（技術士にふさわしいという問いでは無かったが）応答が良かったのか？提出済み小論文の内容が良かったのか？は判らないです。

#### ■実施した試験対策

・筆記合格から口頭試験まで 1 ヶ月弱と短いので最初から全力で取り組んだ、しかし倫理や制度が頭に入らず（手が回らず）最初 2 回の模擬ではボロボロだった。  
・始めは、過去の合格者の作成した Q & A の収集と、経歴と業務詳細説明の原稿作り（Q & A は 5 日前までいじっていた）  
・自分で想定質問を IC レコーダーに吹き込み、それを聞いて回答。（文字で見る質問と異なり、耳で聞くと回答が出てこないなので、その対策として実施した。これは試験直前まで行っていた）  
・模擬試験は、11 月の上旬と中旬、11 月下旬と試験の 5 日前の 4 回実施、とにかく試験官と面接する状況に慣れるのか一番大事と思いました。  
・想定問答は、提出小論文に力を入れた。書いている文言は全て答える意気込みで、正直作成していて「大型車混入率・アンケート方法・配布回収数」は調べすぎ？作り過ぎかな？

とも思いましたが、ズバリ聞かれたので準備して良かったと思っています。

・仕事で会計検査や各種検査・監査に対応する場合、事前に想定問答を作ったりして準備するのが自分は性に合っていて取り組むのですが、その経験が今回生かされたような気がしています。